

平成 26 年度 北海道体育学会 第 3 回役員会 議事録

■日時：平成 26 年 9 月 29 日（月）16：00～18：00

■会場：北海道教育大学札幌駅前サテライト教室 2

住所：札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 sapporo55 ビル 4F

出席者：志手典之（会長），神林 勲（理事長），石澤伸弘，木本理可，百々瀬いづみ，中川喜直，森田憲輝，安田 貢，山田秀樹，大山祐太（会計），奥田知靖（幹事），瀧澤一騎（オブザーバー），田中昭憲（オブザーバー）、

■挨拶

志手会長から、挨拶があった。

議事署名人（中川喜直），（百々瀬いづみ）

■協議事項

1. 第 54 回学会大会について

北海学園大学の田中昭憲先生（大会担当校）より，第 54 回学会大会のプログラム案について提案があった。これについて検討した結果，学会大会 2 日目の発表時間を 9 分に短縮した案で承認した。これに加えて，各セッションの座長についても検討し，これを確認した。

2. 学会賞・若手研究者賞について

研究委員長の中川理事より，若手賞の審査委員について提案があった。一部の審査員が未承諾であるが，承諾済みの委員については承認した。また，若手研究者賞の賞状は研究委員会で準備し，学会賞・若手研究者賞の賞状ホルダーについては事務局で準備することが確認された。これに加えて，研究委員会で学会賞の抄録および業績書について早急に準備することが確認された。

3. 第 55 回学会大会の開催地について

神林理事長より，第 55 回の学会大会を名寄市立大学で開催する旨の提案があり，これを承認した。

4. 各種委員会より

中川理事より，研究助成の再開について提案があった。研究会開催や大学院生の海外研究発表など，助成の対象を拡大することなどの意見が交わされた。また，特別会計を使用した研究助成の是非についても検討された。これらの結果，2020 年度の日本体育学会の北海道開催の可能性を考慮し，当面，研究助成の再開を見送り，特別会計をそのまま残しておくことが確認された。これに伴い，特別会計の役割の変化から，名称を財政調整基金【仮】とすることについて，今後検討することになった。

広報委員長の山田理事より，今年度のニューズレターを例年通りに出版することが説明され，

これを承認した。また、学会のHPで公開することについても承認した。次年度以降は、電子媒体での送付の可能性について今後検討することになった。

5. その他

特になし

■報告事項

1. 会長・理事選挙結果

神林理事長（選挙管理委員長）より、選挙結果について報告があった。会長候補に志手典之氏（30票）が選出され、次点は神林勲氏であった。理事候補には、得票順に、神林勲氏、石澤伸弘氏、森田憲輝氏、永谷稔氏、奥田知靖氏、関朋明氏、井出幸二郎氏、山本理人氏であり、この8名が理事候補となった。理事候補の次点は山口太一氏であった。

2. 日本体育学会関係

志手会長より、日本体育学会の地域連絡会議および総会についての報告があった。北海道体育学会への補助金の増額や、ブロックの再編に伴う日本体育学会の大会開催順について報告された。日本体育学会の北海道地区開催は、第71回大会か第76回大会となる可能性があることが報告された。また、代議員の投票率が低いことが報告され、今後何らかの対応の必要性が説明された。これに加えて、北海道地域から須田力先生が27年度からの日本体育学会の名誉会員となることが報告され、北海道体育学会においても名誉会員に推薦することが確認された。

3. 各種委員会（研究、編集、広報）より

編集委員会長の石澤理事より、北海道体育学会第49巻について、6編の投稿のうち、今年度は2編が採択されたことが報告され、2編が第50巻の継続審査であることが報告された。また第49巻の学会誌は、第54回学会大会のプログラム・予稿集と共に送付することが可能であることが報告された。

4. その他

特になし

■その他

木本理事より、ホームページのリニューアルにより、情報の掲載および更新を頻繁に行うことが可能となることが報告された。

以上